

令和8年度 第2回大和市協働推進会議 会議録

1. 日 時 令和8年7月4日（土）午前14時30分から
2. 場 所 大和市役所会議室棟 202 会議室
3. 出席者 大和市協働推進会議委員7名、
事務局5名（市民経済・にぎわい創出部長、つながり推進課長他3名）
4. 公開非公開の別 公開
5. 傍聴人数 1名
6. 答申作成の流れ 答申作成の流れについて事務局から説明。
7. 議 題

協働事業提案の審議

協働推進会議委員の評価集計結果について事務局から説明。

審議の結果、事業について、全委員一致で協働事業として推進してほしいということになった。

審議における、主な意見、質疑応答は以下のとおり。

申請団体：拠点やまと

事業名：大和市民活動センター管理運営

- 委員 前回（令和5年）では、スタッフの高齢化を課題に挙げていたが、本提案でのスタッフの入れ替えは評価できるが予算の当て方が心配である。
- 委員 目標設定はとても良いと思いました。しかし、具体的な取り組みについて、あまりわからなかった。会議室の利用料を上げることや周知など具体的なものがない。
- 委員 来館数、会議室利用など減少傾向にあるが、シリウス利用者とベテルギウス利用者の目的が異なると思われる。どのくらいの相談があったのか、どのような対応を行ったのかなど、話し合っていく必要がある。
- 委員 利用費を上げるよりも、人材育成に力を入れてほしい。常勤スタッフがいらない状況など、新人を育てづらい環境だからこそ育成を考えた方が良い。スタッフの人材育成は時間をかけ、アウトリーチを用いた人材育成を考えてもよいと思う。
- 委員 ボランティアの参加が若い人が少ない。自治会についても総数151の内、若い人は少ない。ボランティアに参加したいと思っても行動が伴わない。ボランティアの在り方を見直していく必要がある。
- 委員 会議室の利用者については、限定の縛りをなくして誰でも利用できるように努力すべきである。
- 委員 スタッフを集めるのは予算的に厳しいことが難しくしているのではないか。
- 委員 スタッフをどのように集めているのか。
- 事務局 人伝いにスタッフを集めており、中にはNPO経験者も活動している。
- 委員 渋谷にある国際連合大学と環境省職員が共通の目的や目標に向かって協力し合い課題解決の事例から「拠点やまと」との定期的な打合せではなく、何年か協働で一緒にやっていくことも考えてよいのではないか。
- 委員 これはスキルが違いすぎると問題解決にはならない。
- 委員 外部の知識人は現場を知らないので、一緒に実行する人材を考慮すべきである。
8. その他

第3回協働推進会議の開催予定について事務局より説明。